

依頼者名: 千葉県水産加工業協同組合連合会(有) 殿  
スズ市水産)

結果報告日: 2012年 7月 5日

測定日: 2012年 7月 5日

報告書番号: RIN12CB064Sr2

試料名 : コチ (金谷産)

株式会社 同位体研究所  
代表取締役 埴 章

横浜市鶴見区末広町1-1-40

横浜市産学共同研究センター内

TEL:045-718-5457 FAX:045-502-4555

検体特記事項: 試料名は依頼者記載

検体量 : 1106g

## 検査及び

判定法: 固相抽出法による放射性ストロンチウム(Sr90,Sr89合計)測定

分析結果: ストロンチウム

核種	分析対象品目分類	測定値	単位	検出下限値
放射性ストロンチウム	魚	ND	Bq/kg	0.03 Bq/kg

放射性ストロンチウム: Sr-90及びSr-89

検出限界 0.02 Bq (ガスフロー式低バックグラウンドβ線測定装置 Canberra Series 5 XLB)

ND: Not Detected(不検出) 測定時間は60分間

(3M社 Strontium RadDiskによる固相抽出ディスクへの回収後、測定)

## 放射能検査に関する注記:

本測定は、検体より放射性ストロンチウムを酸抽出し、3M社製固相抽出ディスクにより回収した後、放射性ストロンチウム(Sr90及びSr-89)を、ガスフロー式低バックグラウンドβ線測定装置により計測する迅速検査法。定量下限値は、バックグラウンド( $\sigma$ )の3倍( $3\sigma$ )

β線測定前にγ線不検出確認及びβ線検出時、経過β線測定による検証を実施(固相抽出ディスクへのガンマ核種付着、環境放射能核種の不検出確認実施)

結果注釈: 放射性ストロンチウム(Sr90及び89)不検出

依頼者名: 千葉県水産加工業協同組合連合会(有) 殿  
スズ市水産)

結果報告日: 2012年 7月 5日

測定日: 2012年 7月 5日

報告書番号: RIN12CB066Sr2

試料名 : スルメ (千倉産)

株式会社 同位体研究所  
代表取締役 塙 章

横浜市鶴見区末広町1-1-40

横浜市産学共同研究センター内

TEL:045-718-5457 FAX:045-502-4555

検体特記事項: 試料名は依頼者記載

検体量 : 968g

## 検査及び

判定法: 固相抽出法による放射性ストロンチウム(Sr90,Sr89合計)測定

分析結果: ストロンチウム

核種	分析対象品目分類	測定値	単位	検出下限値
放射性ストロンチウム	魚	ND	Bq/kg	0.03 Bq/kg

放射性ストロンチウム: Sr-90及びSr-89

検出限界 0.02 Bq (ガスフロー式低バックグラウンドβ線測定装置 Canberra Series 5 XLB)

ND: Not Detected(不検出) 測定時間は60分間

(3M社 Strontium RadDiskによる固相抽出ディスクへの回収後、測定)

## 放射能検査に関する注記:

本測定は、検体より放射性ストロンチウムを酸抽出し、3M社製固相抽出ディスクにより回収した後、放射性ストロンチウム(Sr90及びSr-89)を、ガスフロー式低バックグラウンドβ線測定装置により計測する迅速検査法。定量下限値は、バックグラウンド( $\sigma$ )の3倍( $3\sigma$ )

β線測定前にγ線不検出確認及びβ線検出時、経過β線測定による検証を実施(固相抽出ディスクへのガンマ核種付着、環境放射能核種の不検出確認実施)

結果注釈: 放射性ストロンチウム(Sr90及び89)不検出

注) 検査結果は、依頼者より提供された検体の分析結果であり、弊社は、当該検体の分析結果についてのみ、その結果を証明します。弊社は、検体の収去に一切関与しておらず、検体以外のいかなる製品に対して、この分析結果を証明するものではありません。本分析試験報告書を弊社の許可なく無断で転載し、使用することを禁止します。(ただし、行政機関による検査の場合を除く)

## 放射能(核種)検査報告書

67400

依頼者名: 千葉県水産加工業協同組合連合会(有) 殿  
スズ市水産)

結果報告日: 2012年 7月 5日

測定日: 2012年 7月 5日

報告書番号: RIN12CB065Sr2

試料名 : カマス (勝山産)

株式会社 同位体研究所  
代表取締役 塙 章

横浜市鶴見区末広町1-1-40

横浜市産学共同研究センター内

TEL:045-718-5457 FAX:045-502-4555

検体特記事項: 試料名は依頼者記載

検体量 : 892g

### 検査及び

判定法: 固相抽出法による放射性ストロンチウム(Sr90,Sr89合計)測定

分析結果: ストロンチウム

核種	分析対象品目分類	測定値	単位	検出下限値
放射性ストロンチウム	魚	ND	Bq/kg	0.03 Bq/kg

放射性ストロンチウム: Sr-90及びSr-89

検出限界 0.02 Bq (ガスフロー式低バックグラウンド  $\beta$  線測定装置 Canberra Series 5 XLB)

ND: Not Detected (不検出) 測定時間は60分間

(3M社 Strontium RadDiskによる固相抽出ディスクへの回収後、測定)

### 放射能検査に関する注記:

本測定は、検体より放射性ストロンチウムを酸抽出し、3M社製固相抽出ディスクにより回収した後、放射性ストロンチウム(Sr90及びSr-89)を、ガスフロー式低バックグラウンド  $\beta$  線測定装置により計測する迅速検査法。定量下限値は、バックグラウンド( $\sigma$ )の3倍( $3\sigma$ )

$\beta$  線測定前に  $\gamma$  線不検出確認及び  $\beta$  線検出時、経過  $\beta$  線測定による検証を実施(固相抽出ディスクへのガンマ核種付着、環境放射能核種の不検出確認実施)

結果注釈: 放射性ストロンチウム(Sr90及び89)不検出

注) 検査結果は、依頼者より提供された検体の分析結果であり、弊社は、当該検体の分析結果についてのみ、その結果を証明します。弊社は、検体の収去に一切関与しておらず、検体以外のいかなる製品に対して、この分析結果を証明するものではありません。本分析試験報告書を弊社の許可なく無断で転載し、使用することを禁止します。(ただし、行政機関による検査の場合を除く)